

自分の良さに気付いたり、友達の良さを認めたりすることができるようにしたい。

そんなときは

## みつめる力を育てる (自己肯定感) 授業プラン

プラン集 p.91

「友達から見た自分らしさ」



自分の良さを教えてもらう活動を通して「自分らしさ」を実感させます。

自信を無くす出来事があっても、様々な解決方法や捉え方があることに気付かせ、前向きに考えたり自信を持たせたりするようにします。

プラン集 p.100

「自信をなくしたら」

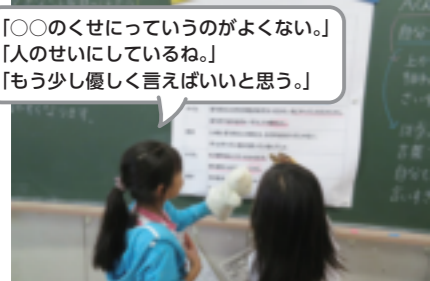
自分の感情や欲求をコントロールすることの大切さに気付かせたい。

そんなときは

## みつめる力を育てる (自己コントロール) 授業プラン

プラン集 p.108

「イラッとポイントを見つけよう」



「○○のくせにっていうのがよくない。」  
「人のせいにしてるね。」  
「もう少し優しく言えばいいと思う。」

ストレスを抱えると、けんかやトラブルが起きやすくなることに気付かせ、自分の気持ちをコントロールすることの大切さを考えさせます。

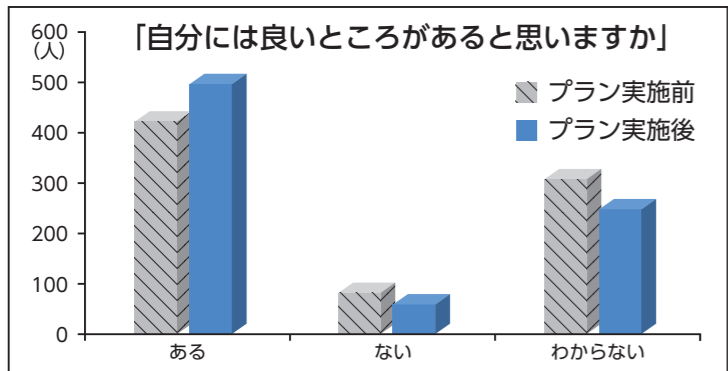
市標準学力検査、生活・学習状況調査のデータを基に、スマホ等の長時間利用の影響について理解させ、自らルールをつくることの大切さに気付かせます。

プラン集 p.118

「ゲーム・スマホ・携帯と上手に付き合っていこう2」

## たく生きの効果

たく生きの活動を通して、友達の良さを認めたり、自分の良さに気付いたりすることにより、子どもたちの自己肯定感に変容が見られるようになります。



## コラム

平成28年12月に出された中教審(答申)では、「…学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する能力、自らの思考の過程等を客観的に捉える力など、…こうした力は、将来における社会的な不適応を予防し保護要因を高め、社会を生き抜く力につながるという観点からも重要である。」としています。このような点からも、たく生きで育む5つの力(認知的・非認知的な力)の重要性が改めて認識されるものとなっています。

たく生きについて解説した手引きや、実践に役立つ学習指導案、ワークシート、補助資料などのデータを学びの連携推進室 WEB サイトで配信しています。 ※edu ネットからアクセスしてください。



「たく生き(たくましく生きる力育成プログラム)」は、仙台自分づくり教育で育む「たくましく生きる力」=5つの力(かかわる力・みとおす力・いかす力・うごく力・みつめる力)を育成するための仙台市独自の学習プログラムです。子どもたちが変化の激しい社会を生き抜くために必要となる、「たくましく生きる力」及びその素地となる知恵・態度を身に付けるため、企業関係者、有識者、教員等が集まり作成したもので、授業プランは社会の変化に応じて深化・拡充しています。



# 子どもたちのこんな様子、見られませんか？

難しいことに挑戦しようとする意欲の低下

自己肯定感の低下

コミュニケーション能力の不足

将来の目標意識の低下



友達の良さにはよく気付くのに、自分の良さは分からずにいる子どもが多いと思いました。

愛子小学校 阿部恵利子先生



たく生きの授業を行うことで、自分の思いを表現することに自信を持てなかった子どもが、友達から自分の良さを教えてもらい、前向きに生活するようになってきました。

以前は、人間関係がうまくつけれない子どもが多く、授業でグループ活動することに消極的でした。

沖野中学校 浅野佑一先生



小中連携の取組として、自分づくり教育年間指導計画(9年間)にたく生きの授業プランを位置付け、実践を重ねてきました。【※写真は小中合同の打合せ会議】



たく生きに小中連携で取り組んだ結果、中学校に入学してからも、コミュニケーションをとることに積極的な子どもが多くなり、グループ学習もスムーズになりました。小学校で身に付けた力を、中学校でも更に伸ばしていけるようにしたいと思います。



**たく生きの101のプランを参考にして、子どもの実態に合わせて実践しましょう。**



学級づくりがうまくいかない…けんかが多いし、言葉で解決できないし…

そんなときは

## かかわる力を育てる授業プラン

「体と頭を使って交流しよう」

プラン集 p.20

「人間コピー」

プラン集 p.29



「相手のことや気持ちを  
知ることができるね。」

実践した先生から

相手の体の動きを指示する「ロボット操縦」などをしました。このような活動は、心が満たされるとともに相手の新たな発見につながることを、実践を通して学ぶことができました。



「その魚は青色だったよ。形は丸くてね…」

もと絵をグループで協力してコピーする活動を通して、自分の役割を生かすことの良さを感じさせます。「子どもたちを受け持ったとき、必ずこの授業プランをします」という声が聞こえるほど人気のある授業プランの一つです。



将来の夢や目標を意識させるために、教室でできることってどんなこと？

そんなときは

## うごく力を育てる授業プラン

「自分の目標を見つめなおそう」

プラン集 p.44

「自分づくり夢教室」

プラン集 p.49



「やることははっきりしているけど何から始めたらいいかが分かるから、目標を達成できる気がする。」

目標を持つことが、自分をより成長させてくれることを理解し、目標の立て方を工夫することができるようにします。



地域の方や社会人講師の話を聞き、自分の将来に対して夢や目標を持つことの大切さに気付かせます。【(写真) 東松島市出身の漫才コンビ ニードルさん】



いろいろな見方ができるようになれば、考えが深まってくと思うんだけど…

そんなときは

## िकास力を育てる授業プラン

「どうしてケーキを残したの？」

プラン集 p.67

「あなたはどちら？」

プラン集 p.68



実践した先生から

相手の立場や言動の理由を考えることができるように、グループで決めた内容をロールプレイで確かめて、振り返るようにしました。自分たちの考えを一方向的に決めてしまうことがあることに気付かせます。

実践した先生から

「時間とお金、どっちが大事？」などの答えやすい質問から始まり、本気で自分の意見を考えることができる高校受験に関する質問まで、多様な価値観を受け入れることができました。

【(写真) カードでどちらの立場が意思表示している場面】



職場体験活動って「マナー指導」をやって、活動が終わったら模造紙にまとめて発表するだけでいいのかな？もっと充実した学びにさせるには…

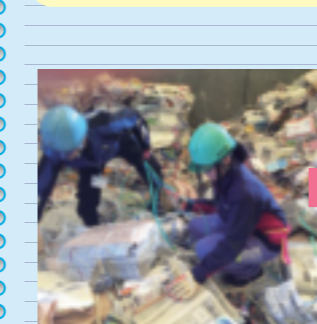
そんなときは

## みとおす力を育てる授業プラン

「働き続けるには？」

プラン集 p.83

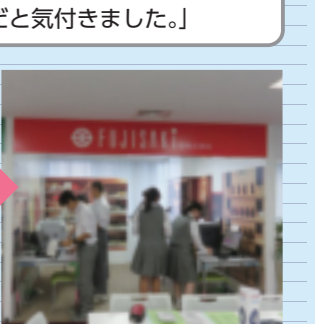
「自分は個性や能力を1番に選びましたが、「社会奉仕」を選ぶ人が多くいました。一人では生きていけないので、人のために行動することが大事だと気付きました。」



職場体験活動



実際に「働くこと」を体験した中学2年生に、働き続けるにはどのようなことを考慮に入れるか、というテーマについて、友人と意見を交わす体験をさせます。



ファイナンスパーク生活設計を学ぶ活動に生かします。